



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮野暁
月一回発行 1部 50円



昨年の総選挙で「自公の多数政治」が崩れました。自公が「数の力」で強行する悪政に対して、国民がストップをかけたからでした。しかし、これからどうなるかはまだまだ不透明です。むしろこれからが大事なのではないでしょうか。声を上げれば悪政に穴をあけることが出来ることを実感できました

ですから、ひきつづき声をあげていきましょう。戦争準備を止め平和の外交を!、誰もが安心できるくらしの向上を!、福祉・医療の充実を!、などを求めて職員と協力し楽しく活動します。



船橋二和病院健康友の会
会長 浦卓夫

いのちと暮らし優先、1人ひとりが大切にされる政治への転換を

新年あけましておめでとうございます。2024年は医療界にどうたいへん厳しい一年となりました。船橋二和病院も例外ではなく、経営状況の悪化のためにリニューアルプロジェクトを一時中止せざるを得ませんでした。

民医連の原点である、困難を抱えた人を「まず診る、援助する、なんとかする」とい

う立場に立ち、地域の皆さまの医療・介護要求に応えることを一番の目標にすべく、職員一丸となって経営改善に取り組んでいいるといふです。

経営改善を果たし、念願のリニューアルに取り組めるよう、友の会の皆さまのご協力も得ながらこの課題に挑戦していく所存です。



船橋二和病院
院長 宮原重佳

「まず診る、援助する、なんとかする」という立場で経営改善をはたす年に

10月・11月は友の会強化月間！ 仲間を増やし、安心して住み続けられるまちづくりを進めよう!!

健康チェック・ウォーキングなど27の企画を実施 11月

地区名	開催日	企画内容	参加人数
松が丘地区	11/1	インターバル速歩	11人
保健活動部	11/5	保健大学第1講座	21人
丸山地区	11/6	丸山地区高齢者訪問行動日	9人
丸山地区	11/8	丸山地区高齢者訪問行動日	7人
御滝地区	//	『いつでも元気』読者会	10人
習志野台地区	11/9	青空市での健康チェック	35人
高根台地区	//	高根台地区福祉フェスティバル	38人
二和地区	11/11	二和地区高齢者訪問行動日	6人
二宮・三田地区	11/12	健康講座「尿漏れについてと予防体操（実技）」	10人
二和地区	//	二和地区高齢者訪問行動日	7人
平和部	11/16	平和学習会（日本平和大会オンライン参加）	11人
法典地区	11/17	古民家でバーベキュー	15人
保健活動部	11/19	保健大学第2講座	31人
御滝地区	//	クリスマスツリーのオーナメントづくり①	6人
西・高・芝地区	//	健康チェック	16人
鎌ヶ谷西地区	11/20	『別冊いつでも元気・レツツ体操』を使って体操	16人
八木が谷地区	//	健康チェック	19人
大穴・三咲地区	11/26	健康チェック	22人
法典地区	//	ペン字教室	21人
御滝地区	//	書道を楽しむ会	4人
八木が谷地区	11/27	『いつでも元気』読者会	10人
習志野台地区	11/28	協力者との交流会	9人
二和地区	//	健康チェック②	48人
丸山地区	11/29	丸山地区高齢者訪問行動日	8人
印西地区	//	「北総花の丘公園」紅葉散策	10人
鎌ヶ谷東地区	//	市川市自然動植物園へ紅葉を見に行く	10人

「拡大強化期間」(10・11月)の到達点 各地で多彩なとりくみを展開

活動内容	開催地区数	参加者数
健康づくり・ウォーキング	9	117
体力・健康チェック	6	223
健康講座・学習会	9	211
親睦・交流活動	3	32
趣味・特技	6	73
「いつでも元気」読者会	4	37
高齢者訪問活動	5	37
平和・社会保障を守る活動	1	11
オレンジカフェ	1	13
合計	44	754
第36回 健康まつり		2,000



第3講座は公開講座も実施
12月3日（火）には、第3講座に併せて公開講座「認知症についての基礎知識」を、一和病院精神科の戸田医師を講師に迎えて開催しました。保健大学受講生24人を含めて総勢91人が参加。今までにない申込みの数に認知症に対する関心の高さがうかがえました。講義は、「加齢とともに認知症になりやすく、平均寿命が長い日本においては認知症の方の割合が高くな

何をしたら認知症の予防に役立つかは、まだ4割くらいしか分かっていないが、WHO（世界保健機構）では「認知機能低下を予防できる対策」として12項目を挙げており、生活習慣の改善や基礎疾患の管理だけではなく、聴力、こうろの健康の維持や社会活動への参加も含まれている等。

A photograph of a group of people seated in rows, facing a front where a presentation is being given. The audience is composed of adults of various ages, mostly women, sitting in simple chairs. The room has a high ceiling with fluorescent lighting and a large projection screen on the wall. The overall atmosphere is that of a formal presentation or lecture.

11月から第41回保健大学が全82講座でスタートしました。昨年度受講生が10人と少なかつたですが、今年度は26人。認知症について学びたかったという方も多く申込まれています。

第1講座は、入学式に続いて、一和病院・宮原重佳院長より「船橋」和病院の歴史と医療活動～経営改善から「和病院リニコーアルへ」と題した講演を、第2講座は、一和病院栄養科の佐藤管理栄養士を講師に「フレイル予防の食事とは」の講義と調理実習をおこないました。

第41回
保健大学がスタート

る。誰でも認知症や介護者になり得る時代だからこそ、家族だけが抱え込むことなく、地域・社会全体で支え合えるよう、正しい理解が必要である」というお話をから始まり、認知症の基礎知識についてお話をいたしました。

①認知症とは

認知症の基礎知識

認知症は、脳神経のはたらきが低下し、日常生活や社会生活で何らかの支援が必要になつた状態のこと。認知症の原因となる病気の種類や段階により症状が異なる。

薬物療法と非薬物療法を組み合わせることで、進行速度を遅らせることができるようになつてきてる。軽度の段階で診断を受ける

徐々に暮らしの中で変化が出てくるが、できること（中核症状）に対して、責められたり適切な理解と支援が得られないことで、不安や興奮、妄想などの様々な心理・行動障害につながる。そのことを理解し、その人の持つてゐる能力、希望に配慮した環境調整や対応、支援の仕方が大切。

老化現象も含めて、できなくなつたことをお互いに許容し合い、助け合いながら、誰もが自分らしく希望をもつて生活できる地域・社会づくりを、国民一人ひとりが「じぶんごと」として取り組んでいく必要があることでした。

③早期の相談や受診が大切

まずはかかりつけ医に